

補助事業番号：26-1-009

補助事業名：平成26年度自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業

補助事業者名：公益財団法人日本自転車競技連盟

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

国民の心身の健全な発達に寄与するとともに、豊かな人間性を涵養することを目的とし、かつ、自転車競技の普及促進と競技登録者数の増加を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

① 国内競技大会（全国大会）の開催運営

当連盟は、日本における自転車競技の統轄団体として、国内の主要な自転車競技大会の多くを主催している。特に、「全日本選手権」と銘打った大会については、全て当連盟の主催である必要があり、当連盟の公認なく、全日本選手権の名称を用いた大会があったとしても、公式な大会とはならず、記録も公式記録として扱われない。また、UCIの公式レースについても当連盟が取り扱い窓口である。

各種自転車競技大会を開催することによって、自転車競技に参加する機会を提供することは、自転車競技の普及振興に寄与するものであるほか、大会に参加しない多数の者にとっても、大会を観戦することによって自転車競技に対する興味・関心を深めることとなり、自転車競技の普及振興に資するものである。

また、当連盟に加盟する地方車連等、他の組織が主催する自転車競技大会の開催を支援し、役員の派遣による大会運営の協力も行っている。さらに当連盟が公式な大会として認めるこれらの各大会において、選手が日本記録もしくは日本国際記録または世界記録を樹立した際、日本記録及び日本国際記録については当連盟がこれを公式記録として認定し、世界記録についてはUCIに公認を申請する。

また、以上の各競技を実施する前提となる競技規則を制定し、これを競技規則集として公表している。

本事業における活動は以下のとおりである。

ア. [全日本自転車競技選手権大会トラックレース](#)

(平成26年4月19日～20日、福島／泉崎、男子93名、女子17名) ※・[全コミュニケ](#)



イ. [全日本選手権個人タイム・トライアル・ロードレース](#)

(平成26年6月27日、岩手／八幡平、男子95名、女子27名)

ウ. [全日本自転車競技選手権大会ロードレース](#)

(平成26年6月28日～29日、岩手／八幡平、男子400名、女子53名)



※ [全コミュニケ](#)

エ. [全日本室内自転車競技選手権大会](#)

(平成26年12月20日～21日、大阪／ボディメーカーコロシウム)



- ※ ・ [開幕告知](#) ・ [開幕](#) ・ [サイクルサッカー](#) ・ [サイクルサッカー<セカンドステージ>](#)
・ [サイクルサッカー<準決勝>](#) ・ [サイクルサッカー VfH 東京 1 が優勝](#) ・ [サイクルサッカー結果](#)
・ [サイクルフィギュア予選](#) ・ [サイクルフィギュア男子シングル<決勝>](#)
・ [サイクルフィギュア女子シングル<決勝>](#)

オ. [全日本マウンテンバイク選手権大会](#)



(平成26年7月19日～20日、静岡／日本 CSC)

- ※速報
- ・ [DHI-Elite Men<予選>](#) ・ [DHI-Elite Women<予選>](#) ・ [DHI-Masters Men<決勝>](#)
 - ・ [DHI-Youth Men<決勝>](#) ・ [DHI-Junior Men<決勝>](#) ・ [DHI-Elite Women<決勝>](#)
 - ・ [DHI-Elite Men<決勝>](#) ・ [XCO-Youth Men<決勝>](#) ・ [XCO-Junior Men<決勝>](#)
 - ・ [XCO-Masters Men<決勝>](#) ・ [XCO-Junior Women<決勝>](#) ・ [XCO-Youth Women<決勝>](#)
 - ・ [XCO-U23 Men<決勝>](#) ・ [XCO-Elite Women<決勝>](#) ・ [XCO-Elite Men](#) ・ [XCO-Elite Men<決勝>](#)

カ. [全日本シクロクロス選手権大会](#)

(平成26年12月14日、宮城／村田)



- 動画
- ・ [男子エリート](#) ・ [U23](#) ・ [女子](#) ・ [ジュニア](#)
- 速報
- ・ [2014年12月13日](#) ・ [男子ジュニア](#) ・ [女子](#) ・ [男子U23](#) ・ [男子エリート](#)

キ. [BMX 全日本選手権大会](#)

(平成26年7月5日～6日、茨城／国営ひたち海浜公園)



※ [初日速報](#) [2日目速報](#)

ク. [全日本トライアル選手権大会](#)

(平成26年5月3日~4日、長野/佐久・ミレニアムパーク) ※・[全リザルト](#)



- 速報 ・ [開幕](#) ・ [Elite 20 予選](#) ・ [Elite 26 予選](#) ・ [ガール決勝](#) ・ [ウイメン決勝](#)
 ・ [プッシン決勝](#) ・ [ベンジャミン決勝](#) ・ [ミニメ決勝](#) ・ [カデット決勝](#) ・ [男子ジュニア](#)
 ・ [Elite 20 決勝](#) ・ [Elite 26 決勝](#) ・

ケ. [JOC ジュニアオリンピックカップ自転車競技大会](#) (平成26年8月16日~17日、静岡/伊豆ペロドローム) ※・[全コミュニケ](#)

コ. [全国都道府県対抗自転車競技大会](#)

(平成26年8月24日~26日、和歌山)

サ. 全日本選手権自転車競技大会—[オムニアム](#) ・ [マスターズ](#)

(平成26年11月22日~23日、静岡/伊豆ペロドローム)

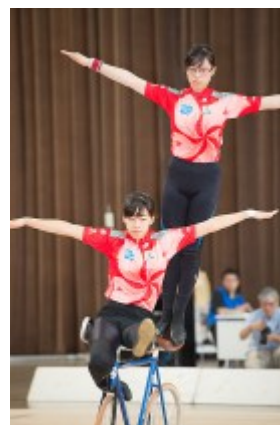


サ. [九州チャレンジサイクルロードレース](#)

(平成27年3月15日、九州／五木村)

シ. [アジア室内自転車競技選手権大会／UCI サイクルサッカーワールドカップ別府大会](#)

(平成26年8月23日、24日、大分・別府、[選手団一覧](#))



- ※ ・[開催](#) ・[サイクルサッカーワールドカップ速報](#) ・[アジア室内競技選手権](#)
・[サイクルフィギュア シングルU15 男子](#) ・[サイクルフィギュア シングルエリート男子](#)
・[サイクルフィギュア ペア女子](#) ・[サイクルフィギュア シングルU15 女子](#)
・[サイクルフィギュア シングルエリート女子](#) ・[サイクルフィギュア ペアオープン](#)
・[サイクルサッカー速報](#)

② 指導者ならびに審判員の養成・資格付与、各地における講習会等の開催、その他広報活動によって、自転車競技の普及振興を図る事業

当連盟では、自転車競技に関する様々な広報的活動を行っている。これらの活動は、単に自転車競技そのものの普及振興を図るのではなく、「健全な」自転車競技の普及振興を図るものである。すなわち、広報的活動による情報発信は、正しいルールに則った、健全なスポーツとしての自転車競技を広めるものである。ドーピング検査や指導者・審判員の講習・資格付与等の活動が本事業に含まれるのは、ルール遵守の意識を浸透させることも含めた広報的活動の側面を有しているためである。本事業における活動は以下のとおりである。

ア. 審判員の講習会の実施及び公認審判員の資格付与

当連盟では、公認審判員の資格を有する者については国内の主要な競技会における審判として参加することができる。日本各地で講習会や資格付与のための検定を行っている。

第1級公認審判員（トラック&ロード）講習会の受講料は5,000円。2級及び3級の講習会は加盟団体が実施する。

平成26年度における第1級公認審判員（トラック&ロード）の資格取得者数は4名、2級59名、3級394名。

イ. 自転車競技の普及・広報事業

(i) [公式ウェブサイト](#)（ホームページ）における自転車競技各種情報の提供

[競技大会の日程](#)や参加要綱、結果の公開のほか、[当連盟の沿革や概要](#)、[競技規則](#)の公開など様々な情報発信をホームページ上で適宜行っている。

開催要綱や募集要項を掲載することにより広く参加機会を周知し、また、各競技大会の速報、競技状況を可能な限り速やかに掲載することにより、閲覧者における関心を高め、もって登録競技者拡大に努めている。

また、競技規則についてもUCIにおいて変更があった場合には、随時、変更内容を反映した競技規則を掲載し、健全なスポーツとしての情報発信の中心を担う役割を果たしている。

(ii) 登録者管理システムの運用

自転車競技の参加者に、安全管理や規則遵守の意識が求められるため、競技者のレベルに応じた内容で競技者登録をさせることによって、健全な自転車競技の普及振興を図る。また、登録者の増加それ自体が、自転車競技の裾野を広げ、普及振興に資する面も併せ持っている。

登録者管理システムにより、競技者登録を簡便化することにより、各競技大会への出場機会を容易にし、もって競技者登録の増加を図っている。

※ 登録者数の推移

平成21年度：5829人

平成22年度：6059人

平成23年度：6321人

平成24年度：6517人

平成25年度：6510人

平成26年度：7080人

ウ. 広報誌の発行

広報誌「[シクリズム・エコー](#)」を定期的（年6回）に発行し、一般に頒布している。

発行部数：4000部

発行日：6月10日、[206号](#)（4・5月号）

8月10日、[207号](#)（6・7月号）

9月20日、[208号](#)（8・9月号）

11月25日、[209号](#)（10.11月号）

1月2日、[210号](#)（12.1月号）

3月20日、211号（2.3月号）

主な配布先 JCF 維持会員・個別郵送希望者等：150部

JCF 加盟団体・大会イベント等：3,250部

自転車関係団体・施設・報道等：600部

エ. 広報（宣伝、現地報道対応）の実施

平成26年度は全日本選手権の中でもトラックとロードについて、ウェブサイト上に特設ページ（[トラック ロード](#)）を設けて、より一層の情報発信に努めた。

また、各競技大会への取材要望に応え、広く報道してもらい、もってより多くの国民（受益者）が自転車競技のみならず、自転車に関わるルール・マナーを認識することにより、広義での自転車競技の普及振興を図っている。

オ. アンチ・ドーピング活動の実施

自転車競技会においてドーピング検査を実施し、参加者だけでなく自転車競技に携わる者の全てにアンチ・ドーピングの意識を広める活動。

また、このほかにも、広報活動の一環としてアンチ・ドーピング活動を行っている。

2. 予想される事業実施効果

① 国内競技大会（全国大会）の開催運営

本事業の実施により、登録者の練習成果の最高峰の場として、かつ予め定められた開催要項に基づき公正かつ安全な各種目の全日本選手権等を提供するとともに、海外派遣の選手選考の一助とすべく効率的な開催をすることにより、自転車競技の普及に寄与する。

特に全日本選手権は国内最高峰の大会であり、継続して開催することにより、自転車競技者をはじめ競技を志す方の目標となる大会である。

また、国内で国際競技大会を開催することにより、海外からのトップアスリートを呼び、高度かつ円熟したパフォーマンスを披露することにより、連盟登録者に対する刺激に加え、観客等一般の人達に対し競技の魅力を全国に発信することにより、自転車競技の普及促進を図る。

② 指導者ならびに審判員の養成・資格付与、各地における講習会等の開催、その他広報活動によって、自転車競技の普及振興を図る事業

全国自転車競技指導担当者研修会・審判員講習会の開催については、自転車競技の向上において、競技力及び審判技術の向上は欠かせないため、最新の情報収集を行う。

広報関係では一般の方やファン層に向けた宣伝や観客動員を意識しPR対策、メディアに対しても広報活動を実施していく。

これにより、今後も自転車競技の普及振興に寄与していく。

3. 本事業により作成した印刷物

- ・ [第83回全日本自転車競技選手権大会トラックレース](#)（プログラム）
- ・ [第45回全日本室内自転車競技大会](#)（ポスター）
- ・ [シクリズム・エコー](#)（広報誌）

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：公益財団法人日本自転車競技連盟

（コウエキザイダンハウジンニホンジテンシャキョウギレンメイ）

住所：141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1

代表者名：会長 石崎聖子（イシザキセイコ）

担当部署：総務部

担当者名：総務部長 菊田 聡

電話番号：03-6277-2690

FAX 番号：03-6277-2691

URL：<http://jcf.or.jp/>